

令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	65	交通安全啓発事業					
	この事務事業 の位置		政策		安全で安心して暮らせるまち					
			施策		交通事故や犯罪のないまちをつくろう					
			基本事業		交通安全					
	主管課名		防災安全課		課長名	池野 雅樹				
	この事務事業の開始時期		昭和40(1965)年代		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	この事務事業の根拠法令		根拠法令なし							
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由					
	児童生徒や高齢者などの交通弱者を対象に交通安全教室の開催や年代に応じた啓発資材を配付し、交通安全意識の高揚をはかり、交通事故の防止を図る。 SDGsの取り組み：11、16				交通人身事故は減少傾向にあるものの、更なる減少が目標であり、また死亡事故も発生している状況から、交通弱者となる児童生徒や高齢者に対する交通安全教育や啓発は今後も継続する必要がある。					
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			園児、児童生徒を対象に交通安全普及啓発資材を配付した。また、園児、児童生徒や高齢者を対象に交通安全教室を開催等し、正しい交通ルールを身に付ける機会を作るなど交通事故の防止に努めた。						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	対象に変化がないため、継続して実施			名称		単位				
				① 交通安全教室開催回数		回				
				② 交通安全教室参加者数		人				
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
市民				名称		単位				
				① 人口		人				
				②						
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
交通安全啓発により、子ども（15歳以下）や若者（16～24歳）、高齢者の交通事故を減らす				名称		単位				
				① 子どもの交通事故死傷者数(15歳以下)		人				
				② 若者の交通事故死傷者数(16～24歳)		人				
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
交通安全意識の高揚を図り市内の交通事故を減らす				名称		単位				
				① 交通安全教室開催回数		回				
				② 市内交通人身事故件数		件				
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標 \ 年度	単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値		
(1)の 活動指標	① 回	22	30	30	30	30	30	30		
	② 人	2,054	4,000	1,990	2,500	2,500	2,500	2,500		
(2)の 対象指標	① 人	61,236	61,218	61,218	61,375	61,656	61,938	62,219		
	②									
(3)の 成果指標	① 人	14	20	13	20	20	20	20		
	② 人	66	40	21	40	40	40	40		
(4)の結果の 成果指標	① 回	22	30	30	30	30	30	30		
	② 件	193	190	137	135	135	135	135		
予算費目	会計	01 一般会計			款	02	項	01	目	13
コスト	年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値		
事業費(決算又は予算額) A	単位	2,819	3,262	2,741	3,161	2,765	2,609	2,609		
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	177	300	117	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	2,642	2,962	2,624	3,161	2,765	2,609	2,609	
人件費 B	千円	3,099.6	3,666	2,830.8	3,141	3,141	3,141	3,141		
正職員従事時間×人数	時間×人	217×3	160×5	216×3	160×5	160×5	160×5	160×5		
正職員以外の人件費	千円	743	770	485	245	245	245	245		
その他の費用 C	千円	208	202	303	303	303	303	303		
トータルコスト A+B+C	千円	6,126.6	7,130	5,874.8	6,605	6,209	6,053	6,053		
単位あたりコスト	① 千円/人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0		

事務事業名	No.	65	交通安全啓発事業
-------	-----	----	----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	啓発活動等により、交通事故件数は減少傾向であり、十分な成果が得られている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境の変化に対応する事は大切であるが、対象を見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境の変化に対応する事は大切であるが、目的を見直す必要はない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	より啓発事業に力を注ぐ。	
	目的達成状況	内容	昨年度との比較では交通事故件数が増加したが、それ以前を含む全体の流れとしては減少傾向であるので一定の目的を達成していると思われる。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 交通安全啓発は市と警察と共同で行う。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	現状を維持し、地道に啓発活動を行っていく。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	交通安全事業は外部委託はできないので現状を維持し、地道に行っていく。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	高校生、大学生に対しての交通安全の啓発方法。	対応策	高校、大学と連携し、交通安全教室などを実施する。
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	交通安全教室の開催、交通安全普及啓発資材の配付などの啓発活動を行った。また、自転車乗車用ヘルメット購入費補助金を開始した。	変更追加	自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の認知度を高め、ヘルメット着用率の向上を図る。
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 交通安全教育を充実させ、体験型の手法も取り入れるなど検討を行う。 保育園幼稚園、小中学校、高齢者だけではなく、市内高校、大学とも協調し、交通安全啓発を行う。 また、自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の活用を促すことで、様々な年代のヘルメット着用率の向上を図る。	
コストの方向性			↓ 減少		
成果の方向性			↑ 増加		

令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年06月06日

1 事務 事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	66	交通委員・交通指導員管理事業						
	この事務事業の位置		政策	安全で安心して暮らせるまち							
			施策	交通事故や犯罪のないまちをつくろう							
	基本事業		交通安全								
	主管課名		防災安全課		課長名	池野 雅樹					
	この事務事業の開始時期		昭和44(1969)年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		特になし								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	小学校児童の登下校時や地域の交通安全指導、各種行事での交通指導に従事する交通委員の報酬等を支給する。 SDGsの取り組み：11、16、17				小学校児童の登下校や交通安全県民運動期間中の街頭指導、市行事開催時等の交通安全指導等を行うことによって、交通事故件数の減少や交通安全意識の高揚が図られる。						
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			交通委員による各地区での交通安全立哨啓発や交通安全指導及び交通指導員による小学生の登下校時の交通安全指導を行った。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	対象に変化がないため、継続して実施				名称			単位			
					① 地域の交通安全啓発日数			日			
					② 小学生登下校時の交通安全指導日数			日			
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
市民 小学生					名称			単位			
					① 人口			人			
② 児童数			人								
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
市内の交通事故を減少させる					名称			単位			
					① 交通委員監視中に発生した事故件数			件			
② 指導員監視中に発生した事故件数			件								
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
交通安全への意識をもち、交通事故を減少させる					名称			単位			
					① 市内交通人身事故件数			件			
②											
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度		単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値		
(1)の 活動指標		① 日	67	70	65						
		② 日	200	200	200						
(2)の 対象指標		① 人	61,236	61,218	61,218						
		② 人	3,709	3,704	3,669						
(3)の 成果指標		① 件	0		0						
		② 件	0		0						
(4)の結果の 成果指標		① 件	193	190	137						
		②									
予算費目		会計	01 一般会計			款	02	項	01	目	13
コスト		年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値		
事業費(決算又は予算額) A		単位	1,577	2,548	1,485	0	0	0	0		
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金		千円	0	0	696	0	0	0		
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0		
	その他		千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源		千円	1,577	2,548	789	0	0	0		
人件費 B		千円	1,506.4	1,872	3,521.7	0	0	0	0		
正職員従事時間×人数		時間×人	133×3	100×5	239×4	0×0	0×0	0×0	0×0		
正職員以外の人件費		千円	62	62	61	0	0	0	0		
その他の費用 C		千円	208	202	202	0	0	0	0		
トータルコスト A+B+C		千円	3,291.4	4,622	5,208.7	0	0	0	0		
単位あたりコスト ①		千円/人	0.1	0.1	0.1	0	0	0	0		
(トータルコスト/②)の対象指標		千円/人	0.9	1.2	1.4	0	0	0	0		

事務事業名	No.	66	交通委員・交通指導員管理事業
-------	-----	----	----------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	交通事故件数が減少傾向にあるのはこの事業のおかげであり、今後もこの事業は必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境の変化による対象の見直しの必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境の変化による目的の見直しの必要はない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		啓発機会を増加させる。
	目的達成状況	内容		概ね達成
	市関与の必要性（実施手法）	内容		<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市が交通委員と交通指導員を管理している。
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		現状で交通事故は減少傾向にあるため、統廃合など事業に少しでも支障がでるような事は行わない方がよい。
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容		令和2（2020）年度に身分が変わり、事業費は減少に転じている。
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	交通委員、交通指導員とも人員の確保が難しく、欠員や増員要望があった場合の補充に苦慮している。	対応策	行政区や交通安全協会と連携し、あらかじめ候補を把握しておくほか、募集の際はハローワーク等を活用し、広く募集を行う。	
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	定期的に交通委員や交通指導員ごとの情報交換の場を作り、業務改善を行った。	変更追加	前年度と同様に継続して実施していく。	
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 小学生の登下校時には、保護者や地域の方たちに防犯も兼ねて協力いただき安全確保の必要性を認識してもらい交通指導員等に準じた活動を担ってもらおう。また、交通委員、交通指導員には交通安全指導のほか最近増加している不審者情報の面から、防犯に対する指導も行っていく。 令和5（2023）年度から「交通安全対策事業（交通安全環境確保事業）」に統合する。			
	コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持				

令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年06月06日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	67	高齢者交通安全事業						
	この事務事業の位置		政策	安全で安心して暮らせるまち							
			施策	交通事故や犯罪のないまちをつくろう							
			基本事業	交通安全							
	主管課名		防災安全課		課長名	池野 雅樹					
	この事務事業の開始時期		平成6(1994)年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		交通安全対策基本法								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	高齢者を対象に交通安全教室を開催する。 自動車後付け安全運転支援装置設置費補助事業を行う。 SDGsの取り組み：3、11、16				高齢者が関連した交通事故が高い比率を占めているため、正しい交通安全知識や交通事故の現状を理解いただき、高齢に伴う判断能力の低下など自覚させ、交通事故の撲滅を図る。						
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			高齢者を対象に、交通安全教室を開催した。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	対象に変化がないため、継続して実施				名称		単位				
					①	いきいきクラブ会員数	人				
					②	高齢者人数	人				
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
自動車運転免許を取得している地区老人クラブ会員					名称		単位				
					①	いきいきクラブ団体数	団体				
					②	いきいきクラブ会員数	人				
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
高齢者の交通安全意識を向上させる					名称		単位				
					①	高齢者交通安全教室の開催数	回				
					②	高齢者交通安全教室の参加者数	人				
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
交通安全意識の高揚を図り市内の交通事故を減らす					名称		単位				
					①	市内交通人身事故件数	件				
					②						
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度		単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値		
(1)の 活動指標		① 人	2,739	3,150	2,543						
		② 人	0	0	11,493						
(2)の 対象指標		① 団体	21	21	21						
		② 人	2,739	3,150	2,543						
(3)の 成果指標		① 回	1	2	1						
		② 人	31	100	78						
(4)の結果の 成果指標		① 件	193	200	137						
		②	176	200							
予算費目		会計	01 一般会計			款	02	項	01	目	13
コスト		年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値		
事業費(決算又は予算額) A		単位	1,300	2,207	918	0	0	0	0		
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金		千円	307	0	0	0	0	0		
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0		
	その他		千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源		千円	993	2,207	918	0	0	0		
人件費 B		千円	2,964	2,958	2,837	0	0	0			
正職員従事時間×人数		時間×人	250×3	160×5	250×3	0×0	0×0	0×0	0×0		
正職員以外の人件費		千円	249	62	122	0	0	0			
その他の費用 C		千円	93	41	182	0	0	0			
トータルコスト A+B+C		千円	4,357	5,206	3,937	0	0	0			
単位あたりコスト ①		千円/団体	207.5	247.9	187.5	0	0	0			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/人	1.6	1.7	1.5	0	0	0			

事務事業名	No.	67	高齢者交通安全事業
-------	-----	----	-----------

2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	高齢者に特化した交通安全教室を行い、常に交通安全を意識してもらうためにこの事業は必要であり、また一定の成果は得られていると考える。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	見直す必要はない。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	見直す必要はない。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	交通安全教室の内容の見直し。		
		目的達成状況	内容	概ね達成している。		
		市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 交通安全業務は警察と市が中心となり業務を行う。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	成果水準を保ちながら、事業費を削減することは困難である。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	現状で削減は難しい。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	保険料のみ負担	

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	高齢者向けの交通安全教室の改善を求められている。	対応策	教室の講師をお願いしている事業所などと協議、調整をし、より実のある教室を行う。
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	高齢者ドライバーに対しての事業及び後付けの安全装置の補助を実施する。	変更・追加	前年度と同様の事業を実施する。
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案	
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 交通事故の撲滅を図るため体験型の交通安全教室を今後も続けていく。 また、高齢者に対する啓発を進めていく。 令和5(2023)年度から「交通安全啓発事業（交通安全意識向上事業）」へ統合する。		
コストの方向性			→ 維持		
成果の方向性			↑ 増加		

令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年12月07日

1 事務事業 の 現状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	68	交通安全対策事業							
	この事務事業の位置		政策		安全で安心して暮らせるまち							
			施策		交通事故や犯罪のないまちをつくろう							
			基本事業		交通安全							
	主管課名		防災安全課		課長名	池野 雅樹						
	この事務事業の開始時期		平成7(1995)年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		特になし									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	緊急的に交通安全対策を図る必要が生じた場合の対策費 SDGsの取り組み：11、16				緊急で交通安全対策が必要な場合に対応できる事業費が必要となっている。							
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			行政区からの要望に対しての工事を実施した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	対象に変化がないため、継続して実施				名称		単位					
					①	交通安全対策工事の実施箇所	箇所					
		②										
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
緊急交通安全対策工事必要箇所					名称		単位					
		①	緊急交通安全対策工事必要箇所		箇所							
		②										
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
安全対策工事の実施					名称		単位					
		①	交通安全対策工事の実施箇所		箇所							
		②										
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
交通事故の防止					名称		単位					
		①	工事後の事故件数		件							
		②										
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
(1)の活動指標		① 箇所	4	3	5	2	2	2	2			
		②										
(2)の対象指標		① 箇所	4	3	2	2	2	2	2			
		②										
(3)の成果指標		① 箇所	4	3	5	2	2	2	2			
		②										
(4)の結果の成果指標		① 件	0	0	0	0	0	0	0			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	13
コスト		年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	8,116	12,460	11,202	14,517	19,881	11,281	11,281			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金		千円	0	0	1,200	1,200	0	0			
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源		千円	8,116	12,460	11,202	13,317	18,681	11,281	11,281		
人件費 B		千円	1,987.4	2,353	2,345.8	5,071	5,071	5,071	5,071			
正職員従事時間×人数		時間×人	183×3	130×5	162×4	225×6	225×6	225×6	225×6			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	184	184	184	184			
その他の費用 C		千円	415	415	505	202	202	202	202			
トータルコスト A+B+C		千円	10,518.4	15,228	14,052.8	19,790	25,154	16,554	16,554			
単位あたりコスト		① 千円/箇所	2,629.6	5,076	7,026.4	9,895	12,577	8,277	8,277			
(トータルコスト/②)の対象指標		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	68	交通安全対策事業
-------	-----	----	----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	道路規制だけでなく、物理的に交通安全対策をすることは有益であるため、事故の減少に繋がる。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境の変化に伴った見直しは必要ない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境の変化に伴った見直しは必要ない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	地元と連携のうえ、工事内容を精査し、効果的な安全対策を講じる。	
	目的達成状況	内容	概ね達成している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市が交通安全対策として工事を行う。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	工事した箇所に見える化を図る意味でも統廃合の必要はない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	効果的な対策を実施するため、現状事業費は最低限必要である。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	全ての市民が受益者になり得るため、直接的な受益者はなし。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	規制に対する要望について、全てに応じることが困難である。	対応策	道路管理者、警察との協議の中で、市で対応できる交通安全対策は、行っていく。
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	緊急的な交通安全対策工事を実施した。	変更・追加	横断者安全明示装置の認知度を上げ、横断者の安全性の向上を図る。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 公共施設の管理者によって、施設の老朽化に伴う事前の安全対策を図ることや道路新設、道路改良工事を行う際には予め、信号機設置等の安全対策について、公安協議のなかで一括して施工しておくなどの対策が必要。 横断者安全明示装置等を使用し、横断歩道での自動車等の一旦停止率の向上を図る。			
コストの方向性		↑ 増加			
成果の方向性		↑ 増加			